



神のことが、自分という人間
の壁を経験しました。「人を救う
ことができるのか」という大きなおそれ
また、どう導き、養うことができ
るのかという大きなおそれ
また、どう導き、養うことができ
るのかという大きなおそれ
また、どう導き、養うことができ
るのかという大きなおそれ

私も若き日、召命を信じて会
社を辞し、駒込山に登ってきました
の知らない人生を生きてきた人
々にどう福音を語りうるのか、
また、どう導き、養うことができ
るのかという大きなおそれ
また、どう導き、養うことができ
るのかという大きなおそれ

おののきと確信の狭間

—召命から派遣へ—

川尻キリスト教会

高口喜美男 師

息吹 Vol. 44



が語ることによっていのちを失
つてしまふのではないか」とい
うおのきにもさいなまれまし
た。
最初の夏期派遣、境港教会の
講壇で、悲痛な経験を背負って
おられる老婦人の視線を受けて
若き神学生であった私は語るべ
き言葉を失い、文字通り「立
ち往生」してしまいました。
その頃、伊藤顯榮先生が授業
の際、「皆さんは神の召しを信
じて神学校にいられたのですが、
もし、召しのかたちが違ってい
たと感じたなら、何も恥じるこ
とはない。教会に帰って、そこ
で献身的に生きなさい」と一
三度、お話になったことも反芻
の機会となりました。
この「伝道者養成所」におい
て、神学生の皆さんが「恐れる
べきことを恐れ、おののくべき
ことにおののきつつ、学びや訓
練、さまざまな出来事や経験を
通して、まさに「聖霊の取り扱
いによって「もつべき確信」に
導かれ、働きの現場に派遣され
ていく時が楽しみです。
また、このような献身者たち

ATA 認定

中央聖書神学校入学試験のご案内

校長 北野耕一 師

入学資格：高卒以上、召命の確信がある方

- | | | |
|---|-----------|---------------|
| ◇ | 【本科入学試験】 | 2013年2月19日(火) |
| | 【願書〆切】 | 2013年2月12日(火) |
| ◇ | 【通信科入学試験】 | 2013年3月9日(土) |
| | 【通信科願書〆切】 | 2013年3月2日(土) |

を指導し、伝道者、牧会者とし
て送り出す重い使命を背負って
いる中央聖書神学校を祈りと財
をもつて支えるのは、私ども諸
教会の責任です。このCBCが
「生きている」ことが教団の将
来を支えていくのですから。
「我らの後につく者を 教え
鍛えよ、中央聖書神学校」
(神学校校歌三番)

静心

会社は「人」という言葉を耳にする度、
教会こそがその極みであると思わされる。ど
んな企業の一員となるよりも、キリストのから
だに属することに優る喜びはない。

キリストのからだの一部であるとは、ど
のようなことなのか。最近、自分自身のから
だの痛みを通して教えられている。痛みを感じ
るという事は、すなわち、一つのからだで
あるという証に他ならない。別のからだや
人格であるならば、この痛みを痛みとして感
じることは出来ないのだ。すなわち、キリス
トのからだとして教会が様々な痛みを覚える
ということは、「もし一つの部分が苦しめば、
すべての部分がともに苦しみ」(I コリ
12:26) とあるように、キリストの体として
つながり、ひとつとなっている証であるの
だ。痛みを痛みとして感じることでできる幸
いを覚えている。

3年 杉浦麻衣子

＝お詫び＝

*2012年CBCニュース5月号の後援会
献金者欄の法人会員において、「ヨーゼフ」
と記載しましたが、正しくは
「株式会社 ヨーゼフ」でした。
心よりお詫びし、訂正申し上げます。

編集後記

主の御名をあがめます。今回もCBCニュ
ースを用いて全国諸教会の先生方、兄弟方に
神学校の様子を紹介できましたことを感謝
します。今後も皆様に支えられながら、より
良いものを提供できるよう努めてまいりま
す。祈りつつ。 広報部 田原聖二

学校の動き (2012年9月

～2013年3月)

2012年

9月4日～12月8日：後期授業

12月9日～2013年1月18日：冬期派遣

2013年

1月15日(火)～26日(金)：冬期研究科

※変更の可能性があります

1月28日(月)～2月2日(土)：

通信科スクーリング

1月22日(火)～2月2日(土)：第1ブロック授業

2月5日(火)～2月16日(土)：第2ブロック授業

2月19日(火)～3月2日(土)：第3ブロック授業

3月5日(火)：卒業式



CBCNEWS

—2012年10月号—

広報部

田原聖二 藤本かおり

倉田典子 本田結基

編集責任者：野川悦子師

事務局：中央聖書神学校



この夏、福島県いわきアッセンブリー教会では、様々な働きを通して多くのことを学びました。仮設住宅訪問ボランティアでは、話しを聞く中で、震災から一年半経った今でも、時間の止まったままの場所があることを実感しました。そのことを通して、更に祈りを積み上げていかなければならぬことを強く示されました。

教会では、ゲストを招いてのゴスペルコンサートを行いました。その働きを通して、神の体である教会は、牧師一人の働きではなく、そこに集う一人ひとりと共に建てあげる働きによって形成されていくということを実感しました。

今、東北の地には確実に多くの種が蒔かれています。主の素晴らしい業に期待して祈り続けていきます。



いわきアッセンブリー教会

三年 神山 茂紀



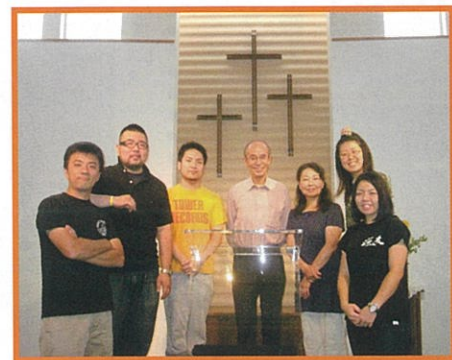
北海道キャラバン

三年 田原 聖一

私たち三年生(田原、神山、山城)は、北野校長の引率の下、八月十七日から二十七日にかけて北海道キャラバンの機会が与えられました。ローマ十二章九節から十八節をかかげ、「ペンテコステパッション」というテーマで、北海道教会にある十二教会の内、九教会+東北教会一教会(八戸のぞみキリスト教会)を巡回させていただきました。

奉仕を通して仕えることを学び、交わりを通して伝道スピリットを教え、ていただき、共に祈ることを通して多くの励ましと聖霊の満たしを受けました。北海道はまさに土地も人柄も「でっかいどう」。大自然の中で神の創造を体験しながら、忘れられないキャラバンとなりました。

私たちが受け入れ、もてなしてくださった先生方、兄弟に心より感謝いたします。本当にありがとうございました。



夏期派遣報告

北陸教区巡回

三年 山城 良美

主の御名を賛美いたします。今回夏の長期派遣にて二〇一二年七月十四日(土)から八月十五日(水)まで北陸教区へ派遣していただき、巡回することが出来た恵みを心から感謝いたします。

北陸の諸教会を巡回させていただく中で、人と人の繋がり、地域との信頼関係、何十年もその場所根深く、神様の導きにより働いてこられた教会や先生方の姿を見て、魂の重さをずっと感じました。

今回の経験を通して、日本で伝道することがどのようなものであるかを教えていただきました。

この体験を感謝し、私自身の今後のビジョンをより深く考えていきたいと思われました。すべての栄光を神様にお返しいたします。



北九州シオン教会

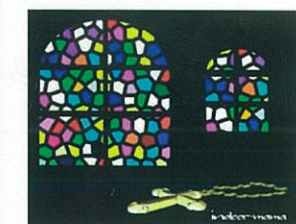
一年 本田 結基

今回の夏期派遣で私は、北九州シオン教会と下関シオン教会で奉仕をさせていただきました。そこで多くの兄弟姉妹とお話をし、共に祈り合うことができました。また、力丸先生を始め、九州教区の先生方ともお会いし、色々お話を聞く中で、伝道の楽しさと厳しさを学びました。

特に、キリシタンツアーでは殉教の跡を見て回り、迫害の中にあっても命をかけて伝道し、信仰を守り通した姿から、私自身、悔改めの祈りと賛美に導かれていきました。

また、教区キャンプや教会の伝道集会、主日礼拝などを通して、中高生を始め多くの方たちにイエス様の事を伝えることができました。

今回の派遣を通して、経験したことや学んだことをこれからの学びと訓練に活かしていきたいと思っています。



北陸・中国・四国聖会

6名の献身決意者
与えられた北陸教区



献身の証を
熱く語る神学生



二〇一二年十月六日から八日にかけて、各教区で行われた聖会に、神学生が学校のことを教会の方々にもっと知っていただくために、北陸・中国・四国教区の聖会に奉仕へ出かけました。

どの教区の聖会も素晴らしく、また親しく声をかけてくださり、神学生一同感謝の気持ちでいっぱいになりました。各教区の皆様、本当にありがとうございました。

(記事 倉田)

パワフルな説教



今年の卒業生の
先生の司会で
盛り上がる中国聖会



力強い祈りが湧き
上がった四国聖会



素晴らしい賛美が
捧げられました



伝道活動

主な伝道活動

- ・ゴスペルインザナイト (学生伝道集会)
- ・トラクト配布
- ・路傍ライブ
- ・上野伝道集会
- ・カイ・アルファ (大学生伝道)
- ・聖学院伝道
- ・病院伝道
- ・訪問伝道
- ・文書伝道



◆上野伝道集会◆

(下写真)

上野公園のホームレスの方々に、福音とおにぎりとお茶を提供する集会です。

新しい方が増え、通りすがりの方が集会に加わってくださることもしばしばです。

最近では、集会が終わっても残られて、神学生と一緒に時間を楽しく過ごされています。



◆ゴスペル・イン・ザ・ナイト◆

求道者が多く送られてきています。年齢も幅広く各学生も、それぞれの賜物を活かして伝道しています。

決心の時間には手を上げる方もおられ、聖霊の素晴らしい働きが顕れる集会となっています。

◆聖学院伝道◆ (左写真)

女子高等部の礼拝で、ゴスペル・ワークショップをしているところです。若い方に福音を語ることができるよう大きなチャンスとなっています。



◆トラクト配布◆

ひとりでも多くの魂を救いたいと言う学生たちの祈りが主に届き、後期の授業が始まってからの「学生伝道集会」にこのトラクトを握り締めていらっしゃる方が増えてきました。

◆路傍ライブ◆

駒込の駅前の公園で、ワークショップを歌いまた、福音を語っています。

公園に来られている方々と触れあい、地域と繋がる機会が持てる伝道活動となっています。

(記事 倉田)

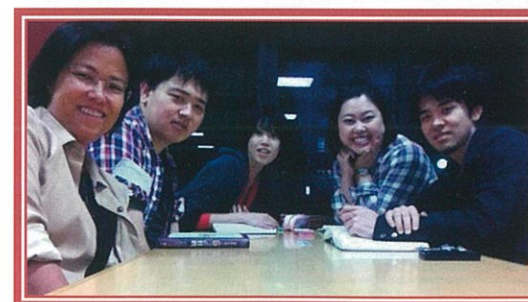
◆カイ・アルファ◆ (左写真)

CBCの向かいにある「女子栄養大学」で行われている聖書研究会です。

北野ジョイス師と神学生が協力し、今年の四月からこの大学で伝道活動を始めました。

学生と共に、聖書の学びを通して、福音を伝えていきます。

これからの活動ですので、お祈りください。



授業内容

ユースミニストリー



神学校の授業紹介をします。
この九月からはなんと、ユースミニストリー（講師：船津信成師）の授業が開講されました！
近隣の教会の信徒の方やユースリーダー、さらに牧師先生方が聴講されています。

働き、活躍されているユースパスターを外部講師として招いています。現代の若者が抱える問題や彼らの価値観などから、どのように若者に対して伝道・牧会していくのか、また、教会における若者たちの重要性や、若者を導くリーダーシップとはどういうことか、そして、リーダーとなる者はどうあるべきかなどを学んでいます。

さらに、現場での生の話を証しを交えながら聴いたり、普段私たちが疑問に思っていることを質問しアドバイスをお願いしたり、とても良い学びとなっています。

まだまだこの授業は続きます。今からでも、そして一時間だけでも聴講できますので、お待ちしております。

(記事 本田)



「中央聖書神学校 後援会だより」 2012年10月

後援会会員への感謝

中央聖書神学校後援会は、全国諸教会の先生、信徒の方々のお祈りと会費によって運営されております。昨年は、多くの法人会員、個人会員のご協力を頂き、後援会の働きを進めてまいりました。心から感謝申し上げます。今後、さらに多くの会員がこの働きにご参加頂けるように願い、努力してまいります。このニュースをお読みのすべての方々のうえ主の恵みが豊かにありますように祈ります。

【法人会員】

2012年1月-2012年6月 後援会費納入者名 (あいうえお順、敬称略)

明石キリスト教会、泉佐野福音教会、江戸川台キリスト教会、大船神召キリスト教会、沖縄中央アッセンブリー教会、川尻キリスト教会、熊本聖書教会、篠原教会、新中野キリスト教会、関城基督教会、多摩川基督教会、八王子シャロン教会、人吉キリスト教会女性部、結城基督教会、マリヤクリニック、

【個人会員】

安斎来、安斎供栄、石原嘉宣、石原美智子、伊東徳衛、太田桂子、岡橋栄子、柏和三、柏勝、柏与志、柏崎みせ、川村敏江、神戸優子、神戸真理子、岸井智子、小竹二三、酒井源次、酒井勝、佐藤茂助、重本操、下道定身、高口喜美男、多賀谷登茂子、直井政勝、長澤忠雄、長澤愛子、藤井敬朗、円山茂治、三浦金一郎、三宅暁、矢田マキ、山脇久治、山脇玲子、横山臨、横山聖子、匿名1名、

*2011年度分含む

【ダビデの石奨学金献金】

2012年4月-2012年9月

【関東東北】中央福音教会 【関東南西】武蔵野基督教会 【関西】尾崎基督教会 【四国】中村福音キリスト教会、高知聖書教会 【九州】佐伯聖書キリスト教会 【個人】野出テルヨ、北澤成弘、匿名1名

【一般献金】

2012年4月-2012年9月 (あいうえお順、敬称略)

【団体献金】

天塚基督教会、神居キリスト教会、北見神愛キリスト教会、札幌東キリスト伝道所、名寄聖書キリスト教会、浜松北キリスト教会、山手町教会、株式会社ヨーゼフ、

【個人献金】

赤井麻貴子、伊東徳衛、伊東アイ、北野耕一、小石美智子、原田龍三、吉永豊、松本俊子、 (9月30日現在)

オープンキャンパス！

神学校初の試みとして、五月号でお知らせいたしました、一週間通してオープンキャンパスが行われました。

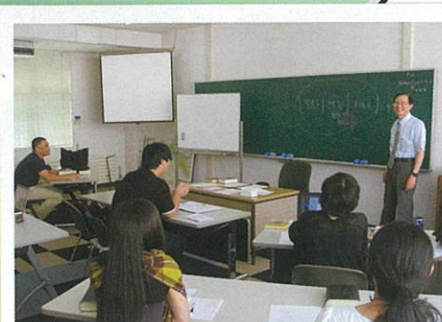
九月十一日（火）から十五日（土）まで、全国から十三名の方が参加されました。寮に宿泊し、朝は点呼前の早天祈祷に始まり、掃除、朝食チャペル、授業、祈祷会、伝道活動、学生伝道集会、オリエンテーションなど、もちろん日帰りでの受講もありました。

どのようなことを行ったかを見て頂き、献身の思いを持っている方は、次の機会に是非、参加して頂きたいと願っております。

(記事 藤本)



右 講義の様子
上 オリエンテーションの様子



右 伝道活動：文書伝道での一コマ



上 学生集会後、集合写真

右 祈祷会の中で参加者のために祈った様子



参加者からは、受講の喜び、神学校での生活を体験したことで、献身についてのイメージが、「良い意味で変わらなかった」「より具体的に祈りたい。」という感想を頂きました。また、一週間の期間については、「助かります。もっと早めに情報が欲しかった。」「仕事の休みの調整がしやすく、良かった。」などの声が寄せられ、参加した学生も同じ思いを持つ献身者のために更に祈ろう！と思ひ起こされました。感謝！